

SSKA

1971年8月7日第3種郵便物認可毎月1・6の日発行

2005年1月19日発行 通巻第5096号

全国パーキンソン病友の会会報

愛知県版 17号

編集人 中島 陽太郎

明けましておめでとうございます

本年も宜しくお願い致します

※ 昨年は暗いニュースばかりでした。今年は明るいニュースが多い年になるといいですね。新潟地震への義援金、たくさんの方にご協力頂き有難うございました。私達も防災対策はしっかり準備しときましょう。

※ 中島編集長が、昨年暮自宅近くの路上で転倒し右肩を脱臼・骨折されました。脱臼の方はすぐに戻ったのですが骨折の方は・・・手術すれば早く回復するのでしようが持病の心臓病があるため手術が出来ないと言うことで右手を固定して自宅で静養されています。当分の間筆を持つことが出来ません。早く良くなって下さい。皆さんで待っています。

この寒い季節、どうしても固縮が酷くなり転倒しやすくなります。外出等される時は杖を使用するなどして注意しましょう。

今号の表紙は中島編集長ではなく肥後が書かせて頂きました。

肥後

もくじ

- | | | | | | |
|----------|-------|-------|----------|-------|--------|
| ☆ 会長になって | ・・・丹羽 | 2・3P | ☆ 大津支部より | ・・・安達 | 12・13P |
| ☆ 人生は | ・・・丹羽 | 4・5P | ☆ 詩 | ・・・則竹 | 14P |
| ☆ 名大セミナー | ・・・山尾 | 6・7P | ☆ 若年性部より | ・・・肥後 | 15P |
| ☆ 手記 | ・・・本田 | 8～10P | ☆ 事務局より | ・・・ | 16～19P |
| ☆ 手記 | ・・・木村 | 11P | | | |

愛知難病連・会長になって思うこと

会長 丹羽 浩 介

この原稿は、愛知県難病団体連合会（22難病組織 12000人）会報に掲載するために会の当面する課題を書いて見ました。一度目を通していただくと、組織が何を目指しているか、分かっていたかも知れません。

会員各団体の皆様、いかがお暮らしでしょうか。私は、昨年4月前会長より推薦を受け、会員諸団体の承認により当会の会長に就任させていただきました。就任以来やがて1年を迎えようとしています。この間の微力をお詫びすると同時に、若干の感想を述べご批判を頂戴して今後の指針にしたいと思います。

先ず初めに感じたことは、この会は、理念と加盟各団体のニーズが未調整のまま現実会として運営されているという点です。このことから、日常処理されるべき問題に、いろいろの支障が生じます。例えば、当会の運営に必用な財源問題です。往時年間予算が800万円を越えましたが、当年は300万円台です。そこで、三役提案として、理事会に製薬業界よりの寄付を求める案を提案しました。これに対して、薬害を受けている加盟団体を初めいくつかの組織より反対の意思表示を受けました。

やむを得ず、この会の目指すところは何か、どのような方法があるかを、各団体に書面でお聴きしました。回収率は約6割、纏めを概括すると「① 難病患者団体としての活動レベルは現行程度は維持すべきである。② 加盟会費の増額は対処できない。③ 物的・人的負担増にも対応は困難。④ 財源としての各界に対する寄付要請は慎重に検討すべきである」というものでした。

その後、財政委員会を開き再度この件を審議して、① 個々の費用の支出抑制を検討する ② 収入増加策として製薬業界からの寄付をもとめる、という答申を昨年末理事会に出しました。理事会では、この答申を採択しました。

本年初の代表者会では、経費抑制案ならびに収入増加対策の双方に対して共に合意に至ることが出来なかったのです。従って、会の活動を左右する大きな課題の一つとしての財政問題に対して再度、会員団体の意向を書面で問います。

次に、難病支援センター事業への取り組みの問題があります。厚生労働省の出した指針の基本点は 1 事業の主体者は「県」であること

2 平成15年より3ヵ年で整備すること

の2点です。これに対する愛知県の主張は、愛知県は県事業の一つとして他県をはるかに凌駕する難病相談室を愛知県医師会共々既に開設している、と言う点にあります。一方、私達の立場は、就労問題の欠落を指摘すると共に当事者の声が生かせる運営主体の創設を求めている点に在ります。

私たちの要求伝達先は愛知県です。また当会のこの件に関する責任者は前任期より引き続いて井上副会長が担当となっています。井上副会長は会社勤めの傍ら、持ち前の優秀な頭脳、論理的な交渉力、などの特技を駆使して多くの活動をしました。私は、従来おろそかになっていた対県議会、対県交渉の隘路の排除に努めました。また、大塚事務局、小林理事はマスコミ対策としての活動対策の準備を進めています。

更に秋には、県、市の出席を請い公開討論の場を持ちました。本会の担当者としての副会長と私は本件の主折衝相手は愛知県である点を常に確認して作業を進めています。

昨年末の12月28日の対県折衝では、県より愛知県、愛知県医師会、愛知県難病団体連合会の三者協議の場の開催を確認させました。従って、当会としてはやるべきはやり、それ相当の成果があったものと考えます。

本年の1年間は、この件に対する枠組み構築の年と考えて鋭意努力します。

三点目として、会の運営そのものの問題です。冒頭に書きました。本会の現にある姿として、加入各団体の理念とニーズが未調整の感があることは、実務を進める上で承知しなければならないことです。夫々の立場を尊重しなければ、会の統一と団結力を更に阻害する方向に向かう点を大いに危惧します。

事務局を担当していただいている二人の方は、私達と同じ難病患者であり、且夫々の組織の代表者であるということを承知下さい。また、夫々の会員の当会担当者が多忙なる事も承知しています。しかし、少なくとも、当会事務局よりの問いかけに対しては意思表示を行なってください。

以上、会長就任1年。若干の所感を申し述べました。会員の皆様のこの会を良くする立場に立った真摯なご批判をお待ちしています。

人生は奈落の縁に腰掛けているようなもの

会 長 丹羽浩介

ATMって、何かご存知でしょうか。そうですね、普通は銀行や郵便局にある現金自動払機のことです。でも今、私が問題としているのはそうではありません。

ATMのAは明るく、Tは楽しい、Mは毎日を、つまり、「ATM」は「明るく楽しい毎日を」と言うことです。こう言う生活態度が望ましいことは、誰にでも言えることであり、また誰にでも当てはまります。そこで、こう言う喩え話はいかがでしょう。

人生とは、奈落（地獄）の縁（ふち）に腰掛けていて、それに気付かないだけなのだと。もう少し、砕いて言いましょ。（再度断っておきますが、これは喩え話です）

あなたは奈落という椅子に腰掛けています。あなたの目の前に展開する景色は、5月の晴れた日です。足元は新緑の芝が一面、目を水平にすれば新緑の森が目には染みます。さらに、目を上に向ければ、雲一つない青空が広がります。のどかそのものです。こんな穏やかなある日に神はあなたに悪戯をします。あなたの座っている椅子を180度回転させます。目を水平にする限り、空を見上げる限り、これまでの景色と全く変わりありません。しかし、目を下に向けた途端、寒さが背筋を走ります。あなたが目に下に向けるとそこには、さっきまであった緑に燃えた芝生に代わり、奈落があるではありませんか。今までは背中を向けていたから気がつかなかっただけなのです。

この原稿を事前にある会員の方に聞いていただきました。そうしたら、奈落と言う表現は怖いと言われました。奈落すなわち地獄と言うものが実際あるわけではありません。あなたの心の問題です。さて、ここであなたのとるべき態度は二つです。

① 今、神が悪戯をして自分の椅子を180度回転させたとはいえ、事実は何も変わってはいない。ただ、背中の下が奈落であると気が付かなかっただけだ。それならば、いままで通りの生活を続けよう。パーキンソン病と告げられたにせよ、昨日と今日に大差があるわけではない。それなら、病気は病気として受入れて、人生を明るく楽しく暮らそう、と考えるか、

② これは、大変なこと、奈落にいつ落ちるのか、怖い、怖い、と考えるかのいずれかでしょう。この経営の員会、この入会申請書の干渉、この丹羽浩介、人間は大地の子と言います。それでも良いのですが、実は太陽の子です。世界の多く

の宗教が神とするのは、自然そのものです。或いは私達の目に見えない自然を支配する法則そのものです。その法則そのものの根本が太陽だから、わたし達は太陽の子です。

さて、ここが大切なのです。つくしでももやしでも上を向いて伸びます。だから、私たち人間も絶えず上を向いている必要があります。上を向いている限り今までと同じ生活が出来ます。下を向いた途端に目に飛び込んでくるのは奈落です。状況は今までと基本的に変わっていません。ただ座っていた椅子を180度回転させられただけなのです。何も怖がる必用はないと思うのです。

パーキンソン病と言われて将来を悲観し、現在を気の晴れぬまま送っているあなたに私は問いかけたいと思います。私は45歳の時に発病しました。今年の1月19日で21年経過しました。皆さんが私をみると信じられないと言います。元気なのです。その私も発病当初は大変に具合が悪かったのです。薬を飲んでも効かない、寝床に入ると太ももが痛くて仕方が無い、杖を日常使用する、これが当時の生活です。

昨年一年間の私の行動範囲は、アメリカ、韓国、福島県、福岡県、兵庫県、三重県、東京都です。友の会の他の人と出かけると、私の速足に皆さん閉口します。駅の階段は2段とびです。今、1月14日午後9時です。明日は8時の新幹線で広島に行きます。

広島県支部に頼まれて講演に行きます。これら一連の出来事の根元にあるもの、それは私が上を向いて生活することを習慣化したからだと確信しています。そして、上向いて生活することの根本が始めに書いた・ATM・明るく楽しい毎日を、なのです。

この種の話は私は過去会報に多く書きました。まとめて本にしました。私、丹羽浩介と会員の方の手記、専門医の話など盛りだくさんです。初版1刷2000冊は半年で完売しました。沢山の方からの出版要請に応じて2刷1000冊を昨年暮れに作りました。これも好評です。

『もうパーキンソン病と呼ばないで』

をお分けします。 定価 1200円 送料200円 合計1400円の郵便為替同封の上 普通郵便で下記に申し込みください。

477-0031 東海市大田町上浜田 61-4-615

愛知県パーキンソン病友の会

肥後ひとみ 宛

名大脳外科セミナーに参加して

山尾 佐知子

昨年、12月12日(日)に開かれました、名大脳外科セミナーに参加させて頂きお話を聞かせて頂きました。

初めは「難しい話ばかりかなあ～」と思っていましたが、名大の吉田純教授はじめ大勢の先生方のお話にすっかり聞き入ってしまいました。
脳の話・頭の中の話と聞くと私達パーキンソン病患者はビビット感じますよね、何かを知りたいそんな思いがいつもあると思います。

午前中はパーキンソン病とてんかんのお話でした。

パーキンソン病ってなあ～に？ 脳にある「黒質」という組織の細胞が変性して起こる病気だそうです。

お薬の手助けを受けたら自分の事は自分で出来るのも良いお薬があるからです。
何年か前はこの病気にかかって5年位で亡くなった人が多かったそうですが今では先生方の研究と努力のお蔭で私達患者の心の持ち方次第で楽しく長生き出来る病気と変わって来ました。そして将来パーキンソン病は完治すると友の会の会長は言い切られます。

常に自信を持って言葉に出して
それを行動にする、だから会長は
いつもあんなにお元気なんやなあ・・・？
不思議 ——？

私達会員もパーキンソン病の完治が
一日も早い事を信じて元気で楽しい一日を
過ごすよう心掛けましょう。



難病の中でもパーキンソン病の研究が一番進んでいるといつも耳に致します。
私達にとってこれ程の特効薬はありませんよね、本当に嬉しくて胸がいっぱいです。
この喜びを元気に変えましょう。

先生方のご研究とご努力を尊敬申し上げます。

午後は医療相談・脳卒中などのお話でした。

救急センターの現状など映像を見ながらお話を聞かせて頂きました。ある日突然死をさまようような事が起こった時いったいどうしたらいいのでしょうか？慌てるばかりで何も出来ない私達をすっぽり大きな器で迎えて下さる素晴らしい医療の現状を見せて頂きました。

救急車の中から治療が始まり市内はもちろんの事患者の行く先々まで赤い糸(命綱)で繋がれて尊い命が助けられます一刻の無駄のない治療に先生やスタッフのチームワークの素晴らしい連携プレイに感動致しました。

病気の事はもちろん先生に教えて頂きお薬も飲まなければなりません病気を治すのは自分だという事をしっかり自覚しなければなりません。
自分を大切に致しましょう！！

医者と患者という立場でいつも何か距離がある感じですが今回は少し身近にお話を聞く事が出来てとても嬉しく思いました。

先生方はそれぞれの分野で世界を目指して活躍なさっていらっしゃいます。
これからのご活躍に期待いたします。ありがとうございました。



幸せな日々に感謝

東海市 本田 定男

私は 73 歳の声を聴くまで、その日暮しの吹けば飛ぶよな小っぼけな、零細企業の社長業を営み、半世紀の長きを横道に逸れる事なくこの道〈電気工事業〉一筋で参ってきました。がしかし・・・

業界のゴルフコンペに参加したあるゴルフコーチから、「芝の上を歩行するときは芝に優しく、摺り足は駄目ですよ」と優しく囁き掛けられふと体の不調に気付き、思い当たる節は一週間の間に度々起こる、軽トラックから下車の居りに今迄通りの調子に事はスムーズに運ばない、動作緩慢と体の向きを変える時に転びかける。

自己の判断と家内の勧めで日赤へ駆け込む、診断結果「パーキンソン症候群」と診断され「ネオドパストン 1 錠とナウゼリンを食前 1 錠服用して様子を見ましょう」と至極簡単な診断結果に帰りの道すがら、期待外れの結果報告に落胆し果たしてこの儘この錠剤で元通りの足に戻る術は叶うであろうか。私は暫し路頭に迷う。

案の定薬の効果は殆ど無く半月経過、半月前の状態と変化に何の兆候も診られないので一度服用を中止してみた。

15 日後の予約日に残り半数分の錠剤を持って担当医に「飲んででも飲まなくても何ら以前と変化は無く今朝も全然飲んでいません、15 日間は先生の指示通り食前食後に常用させて頂きましたが、服用した日としない日を自己判断したところ、寸分変わらない状態でしたので、多少の効果の見出せる薬と交換出来ないでしょうか」

先生も私の両掌を交互に前後左右に揺り動かせ硬直具合を懇ろに検査し「じゃあ薬の量を増やしてバランスをとってみましょう」と今日昼食後からネオドパストン錠を 2 錠ずつとナウゼリンを食前 1 錠続けて飲むように指示され、地下鉄本山駅横のすき屋で軽食を済ませ早速指示通りの薬剤を家内から受け取り服用する。



帰りに地下鉄の書店に寄り医学書の並ぶ書棚の前で『パーキンソンはこわくない』久野貞子博士出版の一冊が私を引き付けた。

帰路車中やバスストップの待合時間中も、誰憚る必要をも顧みず読み耽る文中私自身の病状に触れる箇所も多々あり、老眼鏡の助けをかり眠れぬ夜の友として朝方までに二度三度折り返し読破した。

翌朝家内からお小言頂戴し遅めの朝食後、早速久野先生にお電話し現状報告をしおえたら「名古屋から新幹線で 2 時間 30 分位で小平の武蔵病院へ来ることが出来ます、7 月第一水曜日の午前中にいらっしゃい」の言葉に甘えて当日新幹線・中央線を乗り継ぎ武蔵病院に着くも名古屋以上に暑い気候に、唯でさえ暑がりの家内がグロッキー気味で、待合室のソファで呼吸も荒く流れる汗に顔面も紅潮、早速受付横の自販機から冷えた三弦茶を買ってハンケチに包んで流し労をねぎらう。7 月 31 日生まれの私は暑さには若い頃から負ける事は殆ど無かった。

診察前の初診者向け用アンケート用紙の記入も済ませ、家内の横に座って間もく「沖縄那覇市の誰々さん初診者受付窓口までお越し下さい。本人と家族の方共々」鳴りっぱなしの院内放送用スピーカーから「イタリアのサンマリーノからおみえのマリアンヌ・ヨコカワさん再診窓口までお越し下さい」このとき私の横で震える左手を薄い水色の絹糸で覆った女性が、か細い声で「ハイ」と返事して横のソファから立ち上がろうと懸命にもがく彼女を、家内と互いに目配せし家内は手で腰の辺りをそっと持ち上げ、私は多少自由の効く右手を間違っても彼女と共倒れにならないように両の足を踏ん張り「お嬢さん急がないでゆっくりどうぞ」と混み合う待合処を送り出す。

彼女の空いた席に家内と同席した途端、止めどなく零れ落ちる同病者への悲哀と同情からの落涙に見兼ねた家内も隣席の客に気遣いそっと手提げ袋から厚めのハンケチを私の右手に包ませた。

彼女の手助けをして 2・3 分したら私が呼ばれ「神経内科診察 3 号室の前でお待ち下さい」とスピーカーの指示通り右奥の廊下サイドの長椅子の前で先程の女性と入れ違いになった。

私の診断結果はパーキンソン症候群に非ず飽くまでも「パーキンソン病で治療を勧めます」久野貞子副院長の的確な診断結果に微妙に不安は募るも 7 月 13 日の入院も決まり即刻帰名後、入院の準備をし必要な長期入院に際しての品々も即刻宅急便で送る。

果たしてどの程度の体の回復が見込めるか、不安材料は山ほどあれど何分全快の可能性ゼロの病だそう。聴いて吃驚全ての患者が私より重い症状を背負って、生命の維持に全精力を傾注されている姿勢を顧みるに、一事が万事重症患者と武蔵病院で出会ってから、私は幸せな男だと日々神仏に感謝の祈願をし私ばかりか世界中の人の幸せも同時に祈っています。

会員の皆様どうぞ末永く天命を全うし得るまで、互いに手を取り助けあって天国への階段を上り詰めましょう。

久野先生の一筆にも丹羽会長の書籍にも謳って有るように悲観的な感覚は完全に排除し、物事は何事に付け楽観的に見聞し、人の道標に沿って真っ直ぐ突き進むよう弁える実直ささえ備えていれば、僅かな人生にしろ天罰は下るまい。

偉そうな言を口外して終章と参る私を
老耄の戯言とご容赦相願って幕を引きます、
皆様のご健勝をお祈り申し上げます。
末永きお付き合いのほど

呉々も宜しく願い申し上げます。



友の会に入会して

緑区 木村 芳子

皆さん、こんにちは。有松に住んでおります木村芳子と申します。

四年位前より足に力が入らなくなり歩くことが出来なくなり、藤田保健衛生大学病院で検査し、その結果「脳梗塞パーキンソン病」と言われ薬で身体のバランスを取り身体をちょっと押すと力がありませんのですぐ倒れます。

先生の言われるには「薬を飲んでも病気は進んで行く」との事、ここ一週間前より家の中でも転んでばかりです。

大変な病気になったと一人で自問自答しておりました所ある日主人が「パーキンソン病友の会の事が書いてある、一度行こうか」との話になり出かけました。

私ばかりわけの分からない病気になり主人に申し訳ないと思っていたが友の会に入れていただき、皆さんの元気な様子を見て又元気な支部長さんの姿を見て少しは気持が楽になりました。

これからは余り先の事を考えず
丹羽支部長さんや友の会の皆さんに
ついて行こうと思っております。

皆さん宜しくお願いします。



のびのび会に参加して

大津パーキンソン病友の会 安達 信男

風が通りやすく広がる空間、大津の町のような狭くさしさはない。方舎（甲賀地域振興局）も競馬場も広々と配置されている。この日十二月十日は晴れ時々曇りで比較的暖かい日であった。この方舎は何をするのか？聞く機会もなかったが、そのプレイルームが会場であった。

大津パーキンソン病友の会は、5年前に大津保健所の指導と援助があって発足し、紆余曲折を経て今日自主自立の活動を不十分ながらすすめている。そうした大津の友の会に、水口保健所管内のパーキンソン病患者の親睦組織「のびのび会」が自主自立の組織を目指して、全国パーキンソン病友の会並びに大津パーキンソン病友の会との交流を企画され、行事参加の要請があったのである。

プレイルームの入り口に靴がズラリと並んでいる。開け放された入り口からたむろする人の姿が見え、おしゃべりが聞こえる。入ってみると机なし、椅子が数脚あるが大方の参加者はカーペットの上に座っている。机がなくて講演が聞けるのかと疑問に思ったが体操あり合唱ありで納得。それもそうだが、べったり座っている姿は無防備、構えなし、くつろぎの場面で、「のびのび会」の名にふさわしいと気がついた。

そこに久しぶりのお方の顔があった。保健士の平岡さんである。大津の友の会がまだ独り立ち出来ない頃、お世話になった方である。

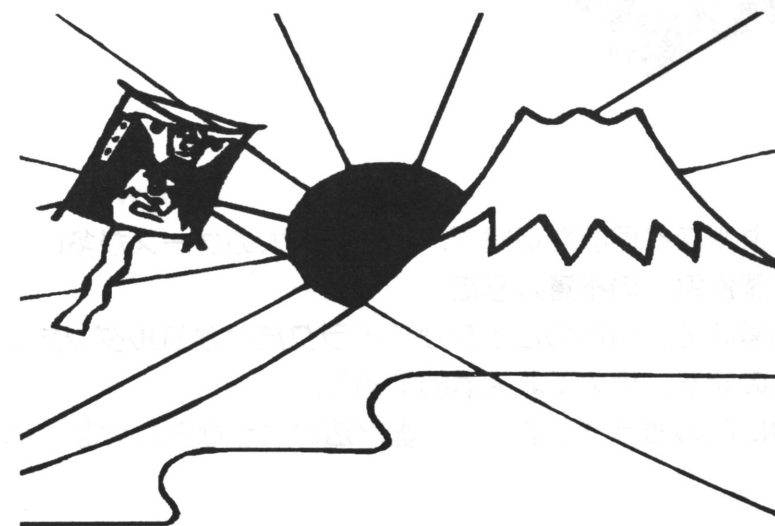
集会参加人数は三、四十名でプレイルームが狭い合唱と体操で心身がのびのびしたところで、本日のメインである丹羽氏（全P友の会副会長）の講演に入る。著書『もうパーキンソン病と呼ばないで』から受けた印象とは違った。スリムな体型、ユーモアに富んだ話しぶりは、演台も机もない会場には似合っている飾り気のなさである。

話の内容は、著書にある「前向きの姿勢」「希望と勇気」（注、希望とは現在より上のことを思う心です。勇気とは希望実現のための熱意、努力を指します。著書 96P）であるが時間の打ち合わせも大ざっぱな大らかさは、保健所の側もそうだが、窮屈に時間に縛られるより、かえってよかったのかも知れない。

丹羽氏は親鸞の歎異抄の暗記を披露して皆を「アッ」とさせてりパーキンソン病の共通項である便秘（うんこ）の話を紹介して皆を笑わせたりもしながら全国友の会の活動も紹介された。

丹羽氏の話の後、大津パーキンソン友の会の原山会長が大津の現状を報告し「今日のような集会に来れない人もいるが、そういう人をどう引っ張って行くか」と言う内容の質問もあった。要は会の運営に関することで、丹羽氏は「任意で参加、善意で行動」と言われ「自分が出来ることをやって助け合うこと」を強調された。大津からも会報（情報）からもらえる勇気、等といった発言もあった。それにしても「のびのび会」のみなさんは交通の便が良好ではない地域の条件の中をよく集まって居られる。これらは多分ご家族のご協力のよるものであろうし、それだけ会が活動できる可能性の大きさを示していると思われた。

各地でパーキンソン友の会が生まれ、自主自立の活動を展開されることは、それだけ情報が豊かになる事を示しており、「希望と勇気」を多く得られる事になる。又国の難病対策や難病研究の予算を財政改革の名の下に削減の対象に入れさせない為の、全P友の会の活動に私たちが呼応する事が大切である事を感じた。この集会はそのような感慨を持たせるものであった。



筋が軋む 第四集

則竹 昌常

こころのなかに雪が降る

あたたかな雪が降る
さらさらと音をたて
平和な国に雪が降る
争いの国にも雪が降る

其処に転がる死者の群れ
其処に引かれ行く棺の列
血塗られた幾つもの国の旗
私たちの背負っているものは
決して軽くはない
少しずつ 返せるものは 返していこう



こころのなかに雪が降る
暖かな 友情溢れる
雪が降る

地震・津波・洪水など何故か災害が、しかも特大のケースが多い。
季節も寒暖が予告無しの不意打ちだ。
スマトラ沖地震なぞ、当然のことながらイラクだとかヨルダンだとか特定して言っていられない。この詩も、極めて非人道的である。
この際全球的にこの悲惨さを許さない国際法のようなものはないのかねえ。

こころのなかに雪が降る
あたたかな雪が降る
歴史にたてつくものは
去らねばならぬ
病に組するものは
灼熱とともに眠る勇気がおありかな？
氷の刃にも耐えられるか？
友と右の腕を組め 左は水先案内人
そして 川面を渡る勝利の足おとに
耳を傾けよう

若年性部より

あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いします。

昨年、年末に海部郡の三浦育郎さんがパソコンのインターネットに
愛知県・岐阜県・三重県の3県を中心としたパーキンソン病患者とその家族の掲示板

マ グ
「M・A・G」を立ち上げました。

三浦さんを管理人とし知立市の加藤紀幸さんと肥後が補佐役として運営しています。

若年性の方には特に仕事の事・経済的な事・子供の将来の事・夫婦間の事・病気の進行状態・薬の事・その他、いろいろ悩み事が沢山あると思います。
患者同士じゃないと分からない事が沢山あると思います、そんな時相談できる場所にこの掲示板を使って頂ければ立ち上げた私達は嬉しいです。

M・A・G→みえ・あいち・ぎふの頭文字を取ってMAG(マグ)と命名しました。
三重支部はまだ立ち上がっていませんがもうすぐ立ち上がる予定です。
患者・家族・医療関係者・その他・色々な方の書き込みお待ちしております。

パソコンをお持ちの皆さん、一度下記までアクセスしてみてください。

<http://www2.ezbbs.net/30/imym1018>

M・A・G(マグ)パーキンソン患者のお気軽掲示板



肥後

ありがとうございました

新潟県中越地震災害義援金

皆様の暖かいご協力により 77 名・総額 409000円 になりました。早速パーキンソン病友の会本部に送金し、役立てていただきます。ありがとうございました。

(協力者氏名・敬称略)

青柳 保夫	浅野 いく	伊藤 加津子	伊藤 サツ
伊藤 千代子	伊藤 勉	伊藤 尚巳	伊藤 日出子
伊藤 弘子	稲熊 英俊	岩澤 興一	太田 和子
大野 志都子	大津 澄枝	岡村 をさゑ	小川 吉郎
小川 茂	奥田 富美江	尾崎 スミ子	尾関 守弘
加賀 久仁恵	梶田 喜美子	加藤 さち枝	加藤 せつ
加藤 基雄	金子 実	唐仁原みどり	川津 利子
木村 芳子	口田 久子	栗田 潤子	畔柳 錠
越澤 英子	後藤 光子	小山 美智子	近藤 英子
近藤 喜代春	鷺坂 輝子	眞田 多實夫	神野 由美
鈴木 輝彦	清野 行夫	鷹羽 貢	竹村 まき子
知念 桂子	角岡 眞理子	手穂 きよみ	中島 晃英
中島 陽太郎	中山 昭	永渕 宏司	新田 早苗
西村 美代子	丹羽 浩介	沼田 隆子	野々垣 正雄
野村 純子	則竹 昌常	花木 有規子	林 三郎
平野 伊尹	福山 郁代	細川 勉	堀江 トモ
前田 正史	正木 和子	益田 緑	町屋敷すみえ
三浦 道夫	水野 輝美	光川 明男	宮地 泰一郎
森川おじょう	森川 好子	森島 邦子	山本 奉孜
吉田 みち子			

お便りから

・少しでもお役に立ちたいと思っていた私共に友の会からの封書でした。お願いします。日頃から、もしもの時、薬がいつも不安でした。早速この件について相談を先生にしてみます。

備蓄は大切です・・・市販されるものでないのですし医師の理解が必要なのでから考えていただきます・・・

夫がパーキンソン病ですけど、言語障害が以前より進行しています。ゆっくり自分のことは一人でやっていますので前向きに一日一日大切にしています。寒く成ってきますのでお体大切にしてください。

・ごめん下さいませ 主人は只今ねた切りで看病の毎日でございます。ほんとうに少金ですみませんが同封いたしました。愛知県パーキンソン病友の会会報、有意義によませていただいて居ります。皆様ありがとうございます。

・いつもパーキンソン病友の会のお世話を頂きありがとうございます。会報を楽しみに読ませていただいております。私の現在の体調は、腰が痛い為動きが悪く、会の催しに参加できない状態です。今後共よろしくご指導下さいませ。

・今日は こちらでは新潟の方と変わってあげたい程の秋日和なのに、地震やら雨やらと誰に怒る事も、天気を変える事も出来なくて、やれ切れない気持ちで耐えていらっしゃるだろうと思うと、私達の病気ばかりじゃなくて、色々などうにもならない事をがまんしている人達がいるんだなあと、自分が一番かわいそうというのは甘えた気持ちだと気が付きます。それなりに今日一日を元気に終える事ができました不自由な思いをしてられる方々に募金を届けて頂きますようお願いいたします。いつもお世話になりましてありがとうございます。

・先日は臨時会報でこの度の新潟地震に愛の手をと呼びかけられ、新潟支部だけでも会員で10人以上の方の連絡の取れない人があられると知りびっくりしております。日本で最も雪が多く寒い地方で、これから寒さに向かいます。その方々に出来る限りの支援とのことで早速私なりの支援とさせていただきます。

・役員の皆様ご苦労様です。私も今回の事故の折、四種類の薬を服用しているのに三つまでしか思い浮かばず(平静なら何てこと無いのですが)先生に薬品名を読み上げて探して頂き、薬の予備と薬品名を持ち歩かなくてはと痛感しました。

・友の会の活動ご苦労さまです。朝、晩と肌寒くなって参り暖房器具を用意するのも大変ご苦労かと存じます。新潟の方々も大変な中、不安な日々を過ごされ、健康な私はどれ程恵まれて居るか身に染みて痛感する毎日です。どうか、友の会の皆様、日毎に寒くなり体も言う事を聞いては下さらない様になると思いますが、どうぞご無理の無い様お気を付けてお過ごし下さいます様に。

・募金わずかですがよろしくおねがいします。私も調子が悪い時はつらいですが今はどうやら勝手仕事、掃除、子守位はやっております。向寒の折御身御大切にお役目頑張ってください。

・お褒りございませんか。何時もパーキンソン病友の会にご尽力いただき感謝しております。本当に有難うございます。主人発病十九年頑張っております。心の在り方が大切だと思います。

ご協力ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

事務局・越澤

平成 17 年度・総会と医療講演会のご案内

日 時 平成 17 年 4 月 23 日 10 時～15 時

場 所 名古屋市総合社会福祉会館・大会議室

名古屋市北区清水 4 丁目 17 番地 1 号

区役所・保健所と一緒の建物で、大会議室は 7 階です。

TEL 052-911-3191

地下鉄・黒川駅下車 41 号線を南に～約 10 分

講 師 名古屋大学・脳神経外科

医学博士 梶田 泰一先生

いろいろと都合がおありのことと思いますが、まげてご出席くださいますよう

お願い致します。

出欠の申し込みは会報 18 号に改めてご案内いたしますので宜しくお願い致します。

ます。

訂正とお詫び

前号 16 号の表紙のもくじに誤りがありました。

4P 鈴木さんを山尾さんに 6P 山尾さんを鈴木さんに訂正して下さい。

編集者一同このような事が無い様十分注意して行きたいと思います。

肥後

会報の特集号／全員参加の文集を作ります

先に出した会報 16 号でお知らせしました。全員参加の文集を作ります。

★ 自分の書いたものが活字になる。わくわくすることです。なんでもよいのです。
今までに何回も書いている人も、今回書いてください。

★ ①近況報告 ②手記 ③随筆 ④詩・短歌・俳句・川柳 ⑤その他印刷出来る物ならなんでも構いません。⑥カセットテープに吹き込んでいただいたのでも構いません（事務局で原稿にします）⑦面談でも結構です・お宅に伺います
⑧手の不自由な方・あなたの「写真」などいかがでしょうか・何年前と書いていただければいつのものでも構いません

★ 字数

①近況報告 ④詩・短歌・俳句・川柳 は同封の原稿用紙を使って下さい。
字がはみ出る人は罫線を無視して下さい。
⑤その他の印刷出来る物 ⑥カセットテープ は個別判断します
②手記 ③随筆 2000 字程度を目安にして下さい

★ 書いていただく人

① 患者会員または家族 ②その他の会員 ③ 賛助会員

★ 作品の募集期間 平成 17 年 3 月 31 日が目安です

この期間が過ぎても原稿の届かない方は、事務局よりお尋ねの便をします

★ 問い合わせ先・原稿送付先

458-0874 名古屋市緑区浦里 1-68-508

越澤 博（事務局長）電話 052-891-3482

雑 記 帳

※ 会員・ご家族・関係者の皆様、明けましておめでとうございます。
本年も宜しくお願い致します。

※ 皆さん、どんなお正月を過ごされましたか？

表紙に書きましたが年末に中島編集長が骨折しました。実を言うと私も11月の始、転倒して左手の小指を骨折、前歯が折れ顎は強打、口の回りはすり傷だらけと悲惨な姿でした。12月末に添え木が取れたところだったので、続けて二人も骨折するなんて・・・

年末年始、動かない左小指をかばいながら何とか無事に過ごせました。
みなさん転倒にはくれぐれもご注意を！！

※ 風邪が流行っています。P病患者は風邪をひきにくいと言われていますが今年の風邪はP患者の方も大勢ひかれています。温暖の差が激しく無いよう部屋の温度調節をこころがけましょう。

肥後

発行人	特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会
	TEL 03-3416-1698 FAX 03-3416-3129
編集人	愛知県パーキンソン病友の会 中島 陽太郎
	TEL・FAX 0562-32-4518 (4590)
	郵便振替口座 00830-2-50411
加入者	愛知県パーキンソン病友の会
頒布価格	500 円